

二級建築士試験／木造建築士試験 指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: <b>大学</b>	学校課程コード: <b>2715-027-180</b>
所在地都道府県: <b>大阪府</b>	審査受付番号: <b>110053</b>
学校名 課程名: <b>近畿大学 理工学部 社会環境工学科 (平成25年03月31日募集停止等)</b>	
対象入学年: <b>平成23年度(2011年度)</b> 修業年限: <b>4年</b>	新規申請の認定通知日: <b>2012/12/26</b>
必要な実務経験年数 <b>試験時:最短0年 登録時:最短0年</b>	変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	製図基礎	1年	2
①建築設計製図	まちづくり設計製図1	3年	2
①建築設計製図	まちづくり設計製図2	3年	2
①建築設計製図	まちづくり設計製図3	4年	2
<b>小計</b>			<b>8</b>
②建築計画③建築環境工学④建築設備	居住環境計画学	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境設計学1	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境設計学2	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	まちづくり計画	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境計画原論	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境設備	2年	2
<b>小計</b>			<b>12</b>
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学&同演習	2年	3
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	土質力学&同演習	2年	3
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	地盤工学&同演習	3年	3
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	応用構造力学&同演習	2年	3
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	力学の基礎	1年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	コンクリート構造学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	木質構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	まちづくり材料学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	環境材料学	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建設工学実験	3年	2
<b>小計</b>			<b>24</b>
⑧建築生産	建設施工法	3年	2
<b>小計</b>			<b>2</b>
⑨建築法規	環境法規	2年	2
<b>小計</b>			<b>2</b>
⑩複合関連科目	測量学&同実習	無年	3
⑩複合関連科目	社会基盤計画学	2年	2
⑩複合関連科目	CAD演習	2年	1
⑩複合関連科目	環境物理学	3年	2
⑩複合関連科目	社会基盤工学	3年	2
⑩複合関連科目	メンテナンス工学	4年	2
⑩複合関連科目	景観工学	3年	2
<b>小計</b>			<b>14</b>

学校種別: **大学**

学校課程コード: **2715-027-180**

所在地都道府県: **大阪府**

審査受付番号: **110053**

学校名 課程名: **近畿大学 理工学部 社会環境工学科 (平成25年03月31日募集停止等)**

対象入学年: **平成23年度(2011年度)** 修業年限: **4年**

新規申請の認定通知日: **2012/12/26**

必要な実務経験年数 **試験時:最短0年 登録時:最短0年**

変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	48
		①～⑩計	62

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上    ②③④ 2単位以上    ⑤⑥⑦ 3単位以上    ⑧ 1単位以上    ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。